届		1E 2	ド 1	<u>処</u> ※	理	文 分	届書	健康	E保険		被	保険	者報	極	月額	変更月	- 1	常務理	事事	務長	課身	長 係 县	与	
事整	· 業 理 記	所 号 ※		豊		K	M	被	康保険 保険者 の記号	2	27	7	<u></u>	Ė.	会 保	険 労	務	土	の :	提占	H A	行	者 月	[] D
Ø	健康 険者	保険被保 証の番号		1		呆 険		の月			生	年 月	日(9種別	3	従前	の標準	集報 西	月額			の改定人	・原	包
	の報画	対象月 州支払)	報通貨	<u>し</u> による		酬 現	物に』	月 にる	11	額		1.6	3ヶ月中	月の総計 均 額		文 定 平 均	年 月 匀 額		遡及	考 及支払額	dor.	
建保		日数	E番号		もの				のの客		サ	合		計画別	多 勇 健保の従前	改定	後の相関軍	票準幸 り従前	及酬月 千四	⑦作成原因 ※		降)給差の月 降)給月	額	
	50	01		- Q- F		建保	円現	郎				10		1	0 1		0	1 9	0		考	年		月
支 払	11 月	31	貨に		318,	, 533	物 に			0	合_	318	3, 53	3		896	2	27	2		与	3	, 000 年 11	円円月
基礎	前2月前 12 月	30			25 1,	, 147	円 る も			0		251	, 14		3月平均都 287	63 <mark>2</mark>	修正	平均額	0			26	年 11	月
日米	前1月前	31	の の		203	, 216	円 の の			0	計一	203	3, 21		健保の改算 0 2		「厚年 <i>0</i>	D改定 2 {	3 O	*	送信			
建保	月 証番号(年金整理	額	氏名		, 210	額			生	年			_	健保の従		り厚年の		· 手压 ·	*				\dashv
	前3月前	. =	通				円現			円				Ш	総計		適用3	正日 在	月	備	考	年		月
支 払	月		貨に				物に			H				H	形容百	r	通用1	十月 午	月	7/用	4			円田
基	前2月前	E	-				円 よ る			円				円	3月平均額	Į P	修正	平均額	円	1			年	円月
礎日	月 前1月前	i 目	も の	_			も 円 の			円	計一			円	健保の改領	色 千	「厚年 <i>の</i>	の改定	手円	.	·*			
数	月		の 額		•		の 額			-											送信			
建保	証番号(年金整理	世番号	大 名	1					生	年	月	日本	重別	健保の従	可十	9厚年6	り従前	千円	*		年		月
支	前3月前	F	通貨				円現物			円				円	総計	<u>:</u> P	適用年	平月 年	月	備	考			円
払基	月前2月前	i E	に	_			に 円 よ			円	合_			円	3月平均額	į P	修正	平均額	円				年	円 月
礎	月		る も				る も				⇒ 1. —													
出数	前1月前	E	の				円 の の			円	訂			円	健保の改算	主 千日	9厚年の	の改定	千円	*	送信			
建保	月 証番号(年金整理	額圖番号	比名	7		額			生	年	月:	日春	重別	健保の従	: 前 千F	9厚年6	り従前	手馬	*				\dashv
幸	前3月前	i E	通				円現			11				円	総計		適用年	毛月 年	月	備	考	年		月
又払	月		貨に				物 に																	円円月
基礎	前2月前	E	る				円 る			円				円	3月平均額	F	修正	平均額	円				年	月
日	月 前1月前	F	も の の	_			も 円 の の			円	計一			円	健保の改算	i :	り厚年の ・	の改定	手压 :	*	送信			
数	月証番号(年金整理	額	比夕	7		額			生	年	. 月	日本	車別	健保の従属	ii fi	り厚年の	り従前	手压	*	信			_
				74.1	4						'			王/3 3				PCIN				年		月
支 #/	前3月前	E	通貨				円 物			円				円	総計	P	適用4	手月 年	月	備	考			円
払基	月 前2月前	 					に 円 よ			円	合_			円	3月平均額	Į P	修正	平均額	円	1			年	円 月
礎	月前1月前		るもの				る も の			П	計-			П	健保の改領	5 1	り厚年の	の砂定	千円	- 5%		l		
日 数	月		の額				内の額			H				[T]	足体の以及	ا ا	N7++0	ノ以化			送信			
事		所	T		70 -	_	67ZZ								平成 2	· 7 年	2 月	2	日提	出	<u> </u>	を付日作	+ ⊢ Π	<u> </u>
所	在	地	東	京都	豊島	区西	大塚	10-	20	– 3	0	杜	0		社保					, e e e e			1 ⊢ ₁	****
名		称				株		ὲ社		広	告	(**(役) 表) <u>*</u>)	等 の	検 印	◎ i	※印欄は 3入方法 よく読ん	は4枚	目に書い		さい。 りますから		
事電	業主日	E名 話						A 太 3-357(X		AL E	取业	13							スプレ	ノイ健康	保険糸	祖合



健康保険 被保険者標準報酬改定通知書

記入例

事整	業理記	所 2 号 **		<u></u> K∣	Mili	^{建康保険} 世の記号 227								
Ø	健康 険者	(保険被保 証の番号		创被保険		氏名 労生年	月日母種別			の標準報酬				・原因
		対象月		報	酬	月	額	\sim		②改定年			与	
		酬支払 日数	G) 通貨による ものの額		物による のの額	合 計	也 平 例例	均 額 改定		額 酬月 [©]	昇(支支払額 降)給差の月都 降)給月	頂
建保	証番号(年金整理	番号	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		生年		健保の従前		厚年の従前	千円;	DIV EN	P\$7 NO 73	
	5	01		健保	一郎	5 50	10 30 1	0 1	9 0	0 1 9	0		年	月
支	前3月前	f H	通貨		現物	円		総計		適用年月 年	月	備考		
払	月	31	に	318, 533	120 1C	0	318, 533	862,		27	2		3	, 000 円 年 11 月
基	前2月前 12			051 147	りよる	円		3月平均額		修正平均額	円		26	年 11 月
礎口	月前1月前		₽	251, 147	も 日の	0 円計	251, 147	287 , 健保の改定		厚年の改定	0	*		
日粉	1	31	0	293, 216	0	0	293, 216	D 2		0 2 8	千円 >	送信		
建保	証番号(年金整理	額		額		•	健保の従前		厚年の従前	: 一			
													年	月
支	前3月前	f B	通	P	現	円	円	総計	円	適用年月 年	月	備考		
払	月		貨に		物 に									円 円 年 月
基	前2月前	t H	よる	P	日 よ	円	円	3月平均額	円	修正平均額	円		4	年 月
礎	月		ŧ		₽.								ı	
日	前1月前	i B	のの	P	引 の の	円町	円	健保の改定	十円	厚年の改定	千円;	送信		
安义	月 証番号(年金整理	額	 	額		月 日 種別	健保の従前	i 手田	厚年の従前	手円 🤅			
				7 0-11			/1 日刊至//1	DEPROPRETA		74 1 05 JCH		• `	年	月
4	前3月前	f B	通	P	月 現	円	円	総計	円	適用年月 年	月	備考	•	
払	月		貨に		物 に									円 円 年 月
基	前2月前	t H	よる	P	日よる	円	円	3月平均額	円	修正平均額	円		4	年 月
礎	月				₽	⇒ I.								
日	前1月前		のの	P	りのの	円計	円	健保の改定	千円	厚年の改定	千円;	送信		
数	月	年金整理	額	II- 9	額	■ 生 年	月日種別	健保の従前	; 3 5.111	厚年の従前	千円)			
Æ IA	BILLER OF	(TEE	EBE O	八名		生生	月 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	達休 グ促乱		子中ツル前		*	年	月
专	前3月前	f	通	P	月 現	円	円	総計	- :	適用年月 年	月 月	備考	1	
払	月		貨に		物 に									円田
基	前2月前	i B	よる	P	りよる	円	円	3月平均額	円	修正平均額	円		4	年 月
礎	月		ŧ		£								ı	
日	前1月前	i H	のの	P	引 の の	円間	円	健保の改定	十円	厚年の改定	千円 🤅	送信		
女 义 建保	月 証番号(年金整理	額	比 名	額		月 日 種別	健保の従前	i 千円	厚年の従前	手円 🤅			
				70 H			71	DEPICE DELL				•	年	月
支	前3月前	i B		P	月 現		円	総計	円	適用年月 年	月	備考		
払	月		貨に		物 に									円 円
基	前2月前	f E	よる	P	引 よ る	円口	円	3月平均額	円	修正平均額	円		4	年 月
礎	月		ŧ	-	£		,	たまな かっとだ	· ~ ·	同年の北京	711	·	l	
日粉	前1月前	i H	の の	P	円 の の	円町	円	健保の改定	十円	厚年の改定	千円	· 送信		
奴	月		額		額			上記の通	: り標準:	: : 報酬を決定し	: たの`		ます。	
事	業		T		7ZZ			平成	年	月 ディスブレ	日			事長
所	在	地				家10-20-	3 0	(付配)		•				
名		称		株:	式会社	〇△広告		官(地方)厚生(支 起算して60日以内	局)ない)に審査記 同に社会保険審査	この決定があったことを知 青水できます。 また、その 会(厚生労働省内)に再審査 再審本時間の対決な経典	決定に不服が 情求できます。	あるときは、決定書の	の膾本が送付された	日の翌日から
事	業主氏	毛名		(x ΔC	郎	様	過しても裁決がた は、裁決を経なく	はいときや、処分 、ても提起できま	再審査請求の裁決を経た後 の執行等による著しい損害 す。この訴えは、裁決の送	を避けるためり 塗を受けた日の	緊急の必要があるとき り翌日から起算して 6	、その他正当な理! カ月以内に、健康!	由があるとき
電		話			03-357	6-54XX		として提起できま 2. この通知書を9	Eす。ただし、原 とけ取ったらすみ	則として裁決の日から1年 やかに、決定された標準報	を経過すると 脚などを、それ	rえを提起できません れぞれの被保険者に通	。 知しなければなり	ません。

	-	F																	専	務セン:	夕一長 副 長 副	事務セン所	_{ター長} グ. ^長 課	ループ : :	長 担 当	i 者
届		コ ー 0 !	 	<u>処</u> ※	理	× 分	届書	厚生	年金保	:険	被	保	験	者報	幡	月額	変更	1月						入	存	
事	2 業	2		豊		1/	M	•	健康保険 被保険者	2	2	7	1	产	E :	会 保	険	労	務	土	の	提	出了	5 行	者;	
整	理記	※ 経保険被保	•	<u>(1)</u>	被	保 険		し	証の記号		生	年	月	∏ G)種別	A	従	前の	り標準	生去に刑	州月額	1 (#)		のみば	三月・原	
	算定	で			幹	B		酬		月	<u> </u>	+	額	Н		③ 3ヶ	月の糸	総計	② 改	定定	年月	9	備	考	<u> </u>	RM.
	支払	酬支払 日数			もの	による の額	る (³		現物に ものの	額	#	_	合		計	也 平	均 改	額 定	後の核	平均	B酬月	⑦ 作 卮	昇	及支払額 (降)給差⊄ (降)給月	月額	
建保		年金整理	E番号	大 名		建保	_	-郎		生 5		⊭ 0 1	月 0 3		重別 1	健保の従 1		Т Щ	厚年の 0)従前 1 9]**		年		月
支 払	前3月前 11 月	31	通貨に		318	, 533	円現物に			0			318,	, 53		総計 862	, 89		適用年 2		月 2	備	考		3, 000	円田
基礎	前2月前 12 月	30			251	. 147	円よる。			0			251,	. 14		3月平均 287			修正3	平均額	0			26	3, 000 5 年 11	円 1 月
日米	前1月前	31	。 の の		203	, 216	円 の の			0	計		293		円	健保の改			厚年 <i>0</i>	改定 2 {	- 100	*	送信			
建保	月 証番号(年金整理	額圖番号	氏名		, 210	額			生	 - 左 :	F.:	∠ ∌ひ, 月 :		_	健保の従		_	厚年の		_	*				\dashv
±	前3月前	i E	通				円現			円					円	総計		円	適用年	月 年	月	備	考	年		月
払払	月	_	貨に				物に				合_				- Inst											円 円 月
基礎	前2月前		よるも				円よるも			円					円	3月平均智	迫	円	修正立	F均額	円				年	月
日	前1月前	_	-				円 の の			円	計				円	健保の改	定	千円	厚年の)改定	千円	*	送信			
建保	月 証番号(年金整理	額圖番号	氏名	7		額			生		F.	月:	日和	重別	健保の従	前	千円	厚年の)従前	手門	*				\neg
±	前3月前	i E	通				円現								円	総計		円	適用年	三月 年	月	備	考	年		月
払払	月	_	貨に				物に																, ,			円 円 月
基礎	前2月前		よるも				円よるも			円					円	3月平均智	迫	円	修正立	平均額	円				年	月
日	前1月前	_	_				円 の の			円	計				円	健保の改	定	千円	厚年の)改定	千円	*	送信	-		
建保	月 証番号(年金整理	額圖番号	氏名	7		額			生		F.	月:	日種	重別	健保の従	前	千円	厚年の)従前	手門	*				\dashv
李	前3月前	t E	通				円現			円					円	総計		円	適用年	月 年	月	備	考	年		月
払	月	_	貨に、				物に				合				- In-		er.								_	円 円 月
基礎	前2月前		よるも				円よるも			円					円	3月平均額	浿	円	修止2	平均額	円				年	月
日粉	前1月前	i E	の の				円 の			円	計				円	健保の改	定	千円	厚年の)改定	千円	※	送信	-		
建保	月 証番号(年金整理	額圖番号	氏名	7		額			生		F.:	月 :	日極	重別	健保の従	前	千円	厚年の)従前	: 手門	*				\dashv
至	前3月前	i E	通				円現			円					円	総計		円	適用年	三月 年	月	備	1 考	年		月
払	月	_	貨に				物 に エ			Ш	合				т	2 1 77 1/24	rei	Ш	ルタ まり	17 + <i>(</i> -1 <i>9</i>)否					F	円 円 月
基礎	前2月前		よるも				円よるも			円					Ħ	3月平均額	陕	門	JISTE-	平均額	円				年	月
日 数	前1月前		_				円 の 額			円	計				円	健保の改	定	千円	厚年⊄)改定	千円	※	送信			
事			刊		70		額 67ZZ									: 平成 2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>.</u> 2		2	日提	出	, ee E	多什口	付印	<u> </u>
所	在	地	東	京都	豊島	区西	大塚	1 0	-20			,	N.	0		社保	委)				,,,,			171 FI)	*****
名	· -	称				株			04	△広	告	(in	締役	表		等の	(検)	11	◎前	八方法		目に書	でくだ; いてあ	さい。 りますか	6,	
事電	業主』	氏名 話							太郎 76-54	XX		\ _	外印	取人												

この届書は、標準報酬月額改定を行う事由が生じた 日から10日以内に提出してください。 2 北康保 227 AB 被保険す 整理記号 証の記号 生 年 被 保 \mathcal{O} 氏 - 月 日 ②種別 従前の標準報酬月額 (F) 従前の改定月・原因 3ヶ月の総計 報 改 定 考 ⑦算定対象月 通貨による 現物による 均 額 遡及支払額 の報酬支払 (H) 計 合 昇(降)給差の月額 昇(降)給月 支払日数 ものの額 ものの額 改定後の標準報酬月 20 2 0 0 5 09 12 10 小島 年 月 5, 200 4 30 07 235, 000 240, 200 720, 600 18 年 4 月 Н 3月平均額 基 5 31 235, 000 5, 200 240, 200 240, 200 通勤定期券

の説明) (届

6

30

この届書は、次の1および2のいずれにも該当したときに提出するものです。

235, 000

1. 昇給または降給により固定的賃金(基本給、家族手当、役付手当、勤務地手当、通勤手当など月単位に支給されるもののほか、日給や時間給などの単位をいいます。)に 変動があったとき、または賃金体系に変更があったとき。

240, 200

0

2

0

U 0

昇(降)給した月または賃金体系に変更があった月から引き続く3カ月間の各月の支払基礎日数が17日以上あり、3カ月間に受けた平均報酬月額から得られた標準報酬月 額の等級と従前の標準報酬月額の等級に2等級以上の差が生じたとき。



(記入の方法)

- 1. 😊欄は、5 昭・7 平の該当する番号を記入します。
- 2. 🖸 欄は、該当する番号を記入します。

5, 200

- 1: 坑内員以外の男子 2: 女子 3: 坑内員
 3. 幼の欄の「健保の従前」と「厚年の従前」欄には、この届書を提出する日現在の標準報酬月額を記入します。 なお、標準報酬月額が3桁に満たないものについては、前に0を記入して3桁とします。
 4. ⑦欄には、昇降)給のあった月(前3月目)から引き続く3カ月(上記の例の場合は、4月(前3月目)、5月(前2月目)、6月(前1月目)、となります。)と、
- (注)月給者の場合は、その月の日数(給与計算締切日までの日数)、日給者の場合は、稼働日数 5. ⑦欄には、各月に支払われた報酬のうち、通貨で支払われた額を記入します。
- - (注)報酬とは、賃金、給与、俸給、手当(残業手当、通勤手当なども含まれます。)、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働の対償として受けたすべて

- のもののことです。 ただし、臨時に受けたもの及び年3回以下で支払われる賞与は除かれます。 6. ②欄には、各月に支払われた報酬のうち、通勤定期乗車券(回数券)、食事、住宅及び被服など、現物で支給されたものがあるときに、厚生労働大臣又は健康保険組合が定めた価額によって算定した額を記入します。
 - なお、該当しないときは、0を記入します
- 7. \oplus 欄には、 $<math>\oplus$ 欄+ \ominus 欄の合計額を、それぞれの欄に記入します。
- 8. ②欄には、①欄(合計額)の総計を記入します。 9. ②欄には、この届出により標準報酬月額が決定される年を記入します。 なお、決定される年が1桁の場合には、前に0を記入して2桁とします。
- 10. ②欄(総計) の額を、3で除して得た平均額を記入します。 11. ②欄の、「遡及支払額」には、3カ月の間に受けた報酬月額のなかに、さかのぼって昇給したことにより数カ月分以上の昇給差額や、3カ月より前の月の分の遅払分が 「遡及支払額」には、 含まれている場合に、その額を記入します
- 12.②欄の、「昇(降) 給差の月額」には、3カ月の間に2回以上の昇給が行われたような特殊な場合に、2回目以降の月の報酬月額のうちの固定的賃金の差額を記入しま
- 13. ②欄の「昇(降)給月」には、昇(降)給ま行われた年月を記入します。
- 14. ②欄には、つぎの算式によって計算した額を記入します

②欄の「遡及支払額」に記入した金額がないときは、この欄の記入は必要ありません。

- (1) 遡及分もや遅払分の支払が行われたとき。 (②欄の金額一②欄の「遡及支払額」÷3=◎欄の金額
 - 3カ月の間に2回以上の昇給があり、かつ遡及分の支払が行われたとき。
 - {(②欄の金額──②欄の「遡及支払額」)+②欄の「昇(降)給差の月額」またはひの2倍} ÷3=②欄の金額
- 15. ②⑤欄の「健保の決定」と「厚年の決定」の欄には、⑤欄の金額(②欄に記載されている金額があるときは、◎欄の金額を「標準報酬区分表」 (健康保険法第40条及び厚生年金保険法第20条) にあてはめて得られた標準報酬月額を記入します。
 - なお、標準報酬月額が4桁に満たないものについては、前に0を記入して4桁とします。
- 1 6. ②欄の備考には、次の事項を記入します。 (1) ②欄に記入したときは、その現物名称

 - の欄の金額の中に年4回以上にわたって支払われる賞与が含まれているときは、前1年間の賞与の支給月と1ヶ月当りの平均支給額。